

# 大震災発生当日に出動

## 兵庫県自動車修理業・レッカー事業組合



3月11日の東日本大震災の発生直後に兵庫県警署に対して本部広域援助隊より出動要請を受け、17日まで人命捜索補助活動および進路補助活動に向かった兵庫県自動車修理業・レッカー事業協同組合の先発隊(株)ナカハツオートの中村修代表と(株)交通救護センターの代表(株)奥野伸一(緊急車両)の代表に現地の活動と、さらに兵庫県警(株)の大西邦典代表とともに今後の活動について伺った。(後発隊は(株)前島自動車、カーテックノジヤバン、ホデイトシヨップサイトウ、馬場崎モーターズ) 出動車両はセンター1716号とF3(緊急車両)、タタノワシントンクワカの下田剛(緊急車両)。

代表に現地の活動と、さらに兵庫県警(株)の大西邦典代表とともに今後の活動について伺った。(後発隊は(株)前島自動車、カーテックノジヤバン、ホデイトシヨップサイトウ、馬場崎モーターズ) 出動車両はセンター1716号とF3(緊急車両)、タタノワシントンクワカの下田剛(緊急車両)。

「白間は、見に行かず！何か起きたら現場に直行しよう！と、出動しなければいける？」という精神のもとでの行動でした。自分たちが活動するのに必要最低限の食料と水(水100リットル、お油40リットル、ミネラルウォーター10ケース、カプラー10ケース、オムツ5ケース、ウェットティッシュ2ケース、お油ストーブ1個、レッカー車両用燃料100リットル)。21時に救援活動先の確認もままならないまま日下氏とともにレッカー車2台に飛び乗り救助に向かった。

活動場所となった岩手県釜石市に到着したのは発生翌日夜8時(出発より23時間後)。気温は0度以下、岩手の冬は凍てつくような寒さで、寝袋を借りていっ

ないのではないかと思っていた。初日は漁船やマイクロボス、乗用車などこれまでに経験のない作業となったが、捜索活動が更に入ると、レッカー車での救助

で、待てる方も指示は出ない。自分たちには何が出来る？自分から動かないと！と思いついた。道路を阻むがれぎの整理を行う自衛隊に「車をどけたら

人を超える行方不明者が出てくる。現場での活動中にも人命救助に立ち会えるのではないかと思いついた。津波で大きな被害を受けたが、みな津波で沖へ流され、瓦礫の下や陸地に生存者はいなかった。かわりに

願しましたが、今回の東日本大震災は阪神大震災と全く性格が異なっていました。津波で大きな被害を受けたが、みな津波で沖へ流され、瓦礫の下や陸地に生存者はいなかった。かわりに

### 『今、行かなきゃいつ行く』

だがトラックの中はよく冷えた。また何度か震度5程度の強い余震に襲われ、寝付けなかった。広域援助隊と言流したが夜は危険が伴うため翌朝7時(生存の確率の高い残り時間31時間)より人命捜索の補助に当たった。

翌朝目にした光景は、まるで戦場へでも連れて行かれたかと思うほど想像を絶するものだった。阪神淡路大震災で被災しましたが、それと比にならない状況で、これを上回る被害は限有でも衝突しない限り起き

活動が難しくなっていた。広域援助隊とはいっても勝手に手を付けることができないため、次の指示を待った。しかし対策本部の体制も整っていない状況

もつと片付きますか？」と聞いかけると「じゃあがれさを片付けて下さい。これも出来そうですか」といったように作業が進み約100台を撤去した。2月

私は阪神淡路大震災を詳しく覚えて、治安は守れる。遺体は洗濯機で回されたかのような悲惨な状態で、夏に地震が発生していたら大変なことになっていた。私は阪神淡路大震災を詳しく覚えて、治安は守れる。遺体は洗濯機で回されたかのような悲惨な状態で、夏に地震が発生していたら大変なことになっていた。



【編者は自動車新聞社 ニュース】